

令和元年度 学校評価アンケート結果について

* 評価実施日 令和元年12月

* 調査対象 児童 回収率 99%

保護者 回収率 94% (保護者は児童一人につきそれぞれ回答)

教職員 回収率 100%

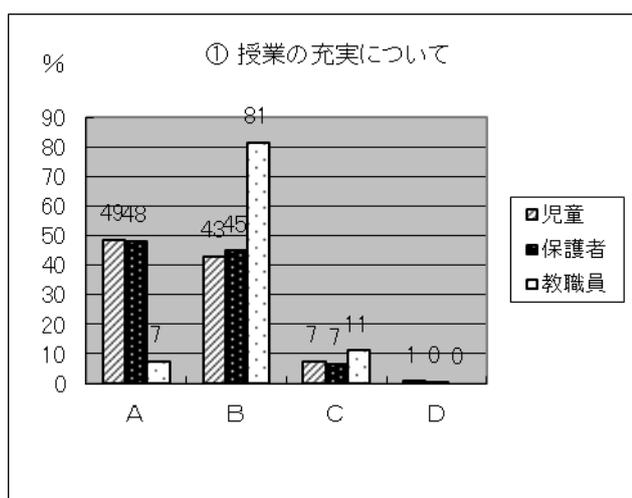
- A とてもよくあてはまる。できている。
 B だいたいできている。
 C あまりできていない。
 D ほとんど、または、まったくできていない。

<問1 授業の充実について>

児童 授業では、よく考えたり発表したりして、本気で取り組んでいますか。

保護者 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。

教職員 教材研究を充実させ、子どもの力が伸びる授業をしている。



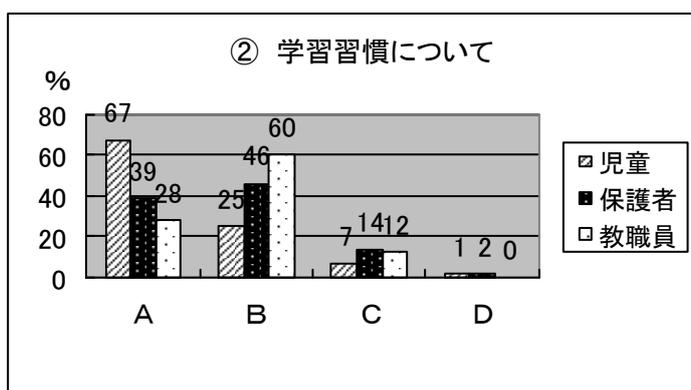
児童の92%がA及びBの評価であるが、これは昨年度比-1%であり、保護者は93% (昨年度+2)、教職員の自己評価は88% (昨年度比-12%)であった。教職員は目指す授業をまだまだ達成できていないという思いである。日々の授業を「楽しく、分かる授業」となるようにしていく。来年度の研究公開に向け、さらに授業の充実、改善に努めていきたい。

<問2 学習習慣について>

児童 宿題や家庭学習を忘れずにやっていますか。

保護者 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。

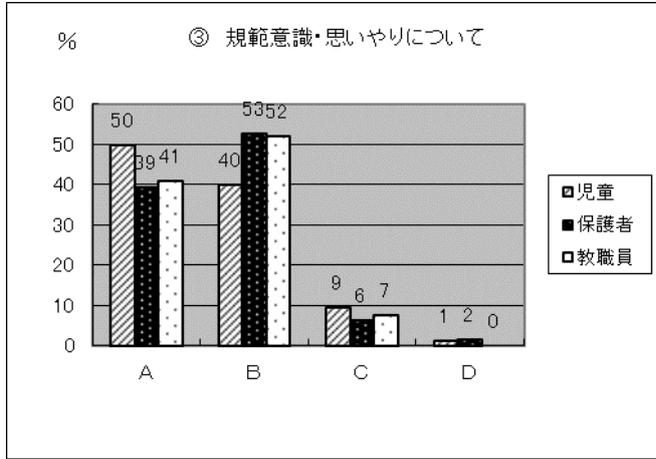
教職員 家庭学習の習慣化が図られるよう工夫して指導している。



児童の92% (昨年度比-3)、保護者の85% (昨年度比+3%)、教職員の88% (昨年度比-8%)がA及びBの評価である。目指すは家庭学習実施100%である。学校と家庭の連携を図りながら、自主学習の内容、方法等を工夫し、さらに家庭学習が充実していくように取り組んでいきたい。「ふくしまの家庭学習スタンダード」と「家庭学習のてびき」を参考にさせていただくようにする。

<問3 規範意識・思いやりについて>

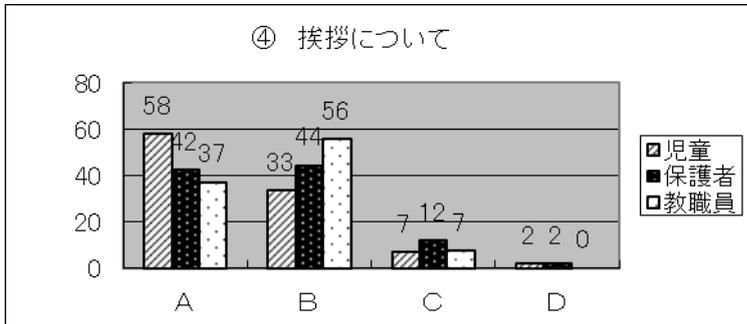
児童 きまりを守り、まわりの人の気持ちを考えて行動していますか。
 保護者 お子さんは、きまりを守り、周りの人の気持ちを考えて行動している。
 教職員 規範意識や思いやりの心を育てるよう工夫して指導している。



児童の90%、保護者の92%、教職員の93%がA及びBの評価である。教職員は昨年度と同数、児童も同数、保護者は1%上回っている。学校、家庭、地域が連携して規範意識の向上が図られた結果となった。今後とも「特別の教科道徳」や生活の中で理解させながら、児童の規範意識・思いやり等の指導にあたっていきたい。

<問4 あいさつについて>

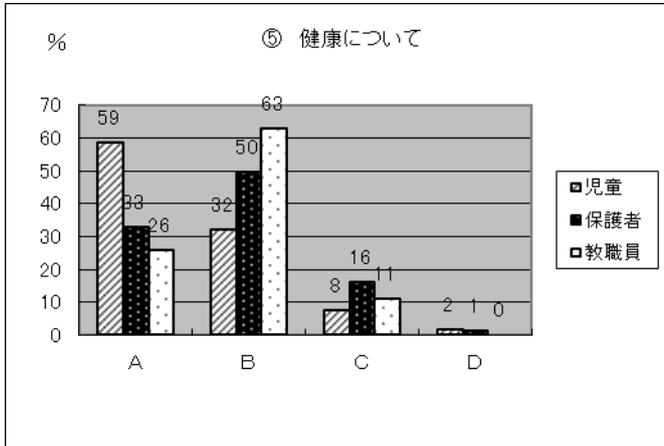
児童 元気にあいさつをしていますか。
 保護者 お子さんは、元気なあいさつをしている。
 教職員 元気なあいさつについて指導している。



児童の91%、保護者の86%、教職員の93%がA及びBの評価である。教職員と児童が高い数値になっているのは、校内でのあいさつができてきている児童が多いからだと考えられる。学校では「あいさつ推進運動」を8月と1月に位置づけ、あいさつの指導を重点的に行っている。今後は、登校時や地域でのあいさつも元気にできるように指導していく。

<問5 健康について>

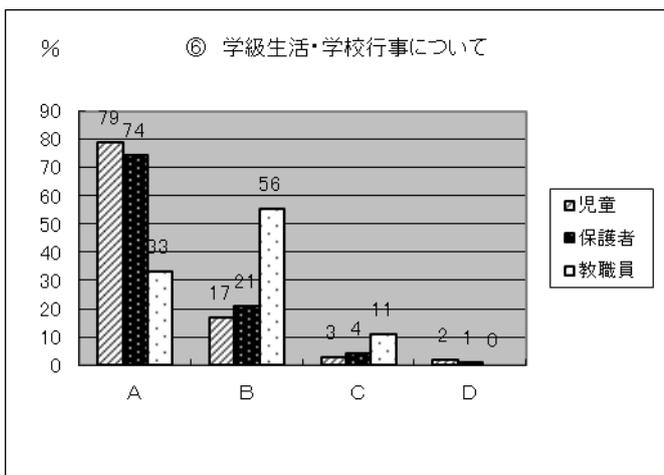
- 児童 運動や食事など健康に気をつけて生活していますか。
 保護者 お子さんは、運動や食事など健康に気をつけて生活している。
 職員 運動や食事など健康に過ごしていくことについて指導している。



児童の91%、保護者の83%、教職員の89%がA及びBの評価である。今年度も、学期毎に体育的行事を計画し取り組んできたが、課題の1つは、運動する子としない子の二極化である。また、食育指導や保健指導に栄養教諭や養護教諭、外部講師を招いてTTで指導を行い、学習内容の理解を深めている。今後も保護者の理解や協力を得て、健康教育を充実させる必要がある。

<問6 学級生活・学校行事について>

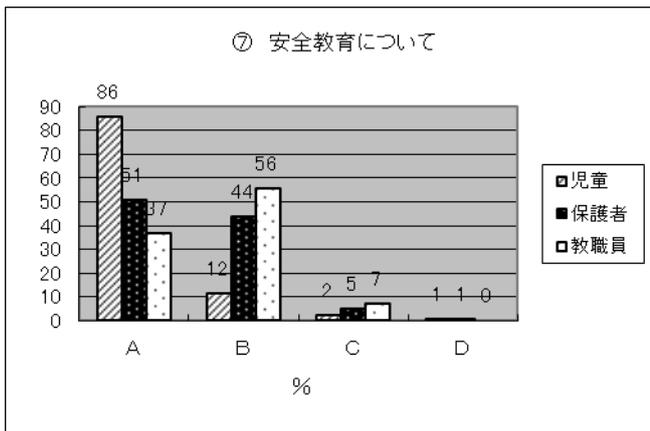
- 児童 学級での生活や学校行事は楽しいですか。
 保護者 お子さんは、学級での生活や運動会・音楽会などの学校行事を楽しんでいる。
 教職員 学級での活動や学校の行事が楽しくなるよう工夫している。



児童の96%、保護者の95%、教職員の89%がA及びB評価である。昨年度と比較すると、児童・保護者がほぼ同じ評価であった。学校行事等について、より教育効果があがるように教職員で計画・運営していく。今後も、本校のこの恵まれた環境を生かして、さらに学級での活動や学校行事の充実を図り、学校生活を豊かにしていきたい。

<問7 安全教育について>

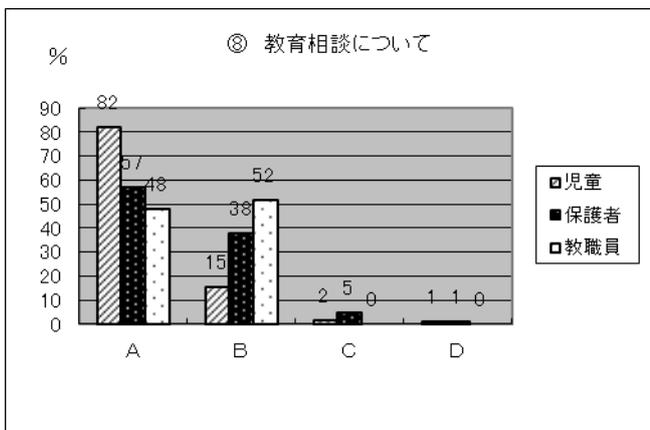
- 児童 火事や地震、交通事故、不審者などから、自分の命を守ることに気をつけていますか。
- 保護者 災害（火災や地震）への対応、交通事故の防止、不審者等から身を守ることなど、学校での安全指導はなされていると思いますか。
- 教職員 地震、災害、交通事故、不審者等から身を守ることについて日常的に指導している。



児童の98%、保護者の95%、教職員の93%がA及びBの評価である。児童、保護者においては、昨年度と同程度になっているが、教職員は16%上回っている。今年度は不審者対応の避難訓練を実施した。今後も、震災の教訓を忘れずに、安全教育の徹底、実効性のある避難訓練等、安全・安心な学校づくりのために、工夫した取組をしていきたい。

<問8 教育相談について>

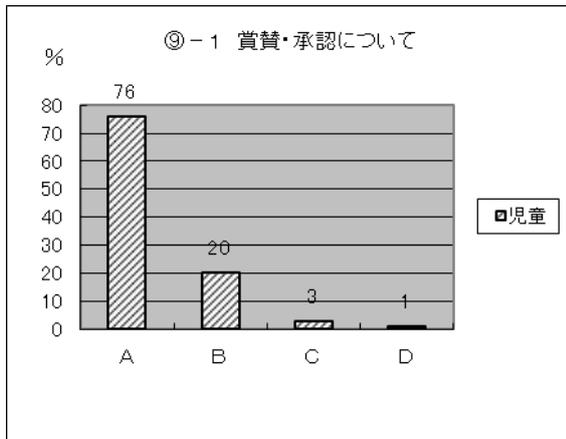
- 児童 学校の先生方は、あなたの悩みや相談に親切に答えてくれますか。
- 保護者 教職員は、お子さんの悩みや相談に親切に答えてくれると思いますか。
- 教職員 悩みや相談について積極的に対応している。



児童の97%、保護者の95%、教職員の100%がA及びBの評価である。いずれの対象においても高い評価だった。子どもたちの良いところを積極的に保護者に知らせたり、保護者と意図的に面談をしたりしたことが効果的であった。今後も、継続して児童の声に耳を傾け、児童一人一人に応じて、きめ細かく対応していくようにする。

<問9の1 称賛・承認について（児童）>

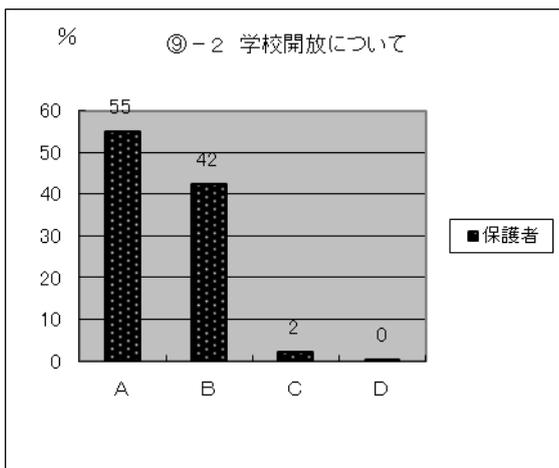
児童 学校の先生方は、学習でがんばっているあなたのことを励ましてくれますか。



児童の96%が、教職員が称賛や承認をしてくれていると評価している。これは昨年度と同数であった。しかし、全体の4%がC及びDの評価で、自分をもっとほめてほしい、認めてほしいと感じていることがうかがえる。今後とも子どもたち一人ひとりを大切にし対応していかなければならない。

<問9の2 学校開放について（保護者）>

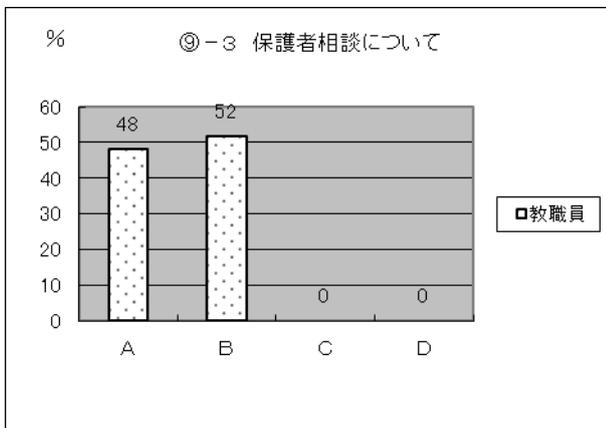
保護者 地域住民や保護者の方が学校参観できる機会や懇談会など、学校を開く努力はなされていると思いますか。



保護者の97%がA及びBの評価をしており、昨年度と同数であった。今後も、学校運営協議会の方にも授業を参観していただく機会をつくったり、地域の方の授業参観の機会を増やしたりするなど、学校開放について、保護者の声を聞きながら充実したものにしていきたい。

<問9の3 保護者相談について（教職員）>

教職員 保護者からの連絡相談に適切に対応し、子どもの立場を尊重する姿勢で指導にあたっている。



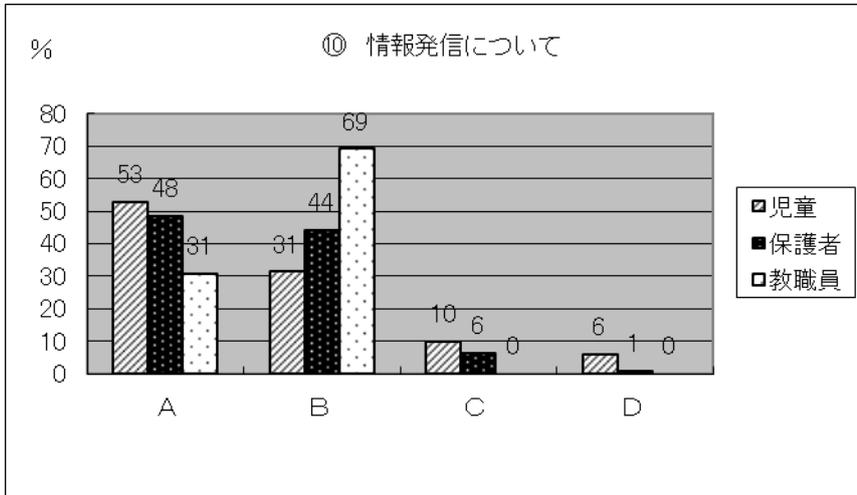
A及びBの評価が昨年度に続き100%である。今年度は更に、問8の評価においても、それぞれの対象で高い評価だった。今後も継続してきめ細かな連絡相談体制に配慮して取り組んでいきたい。

<問10 情報発信について>

児童 学校からのおたよりをよく見えていますか。

保護者 教育活動や子どもたちの様子について、各種のおたよりやホームページなどにより、知りたいことが適切に情報発信されていると思いますか。

教職員 各種のおたよりやホームページなどの学校からの情報発信は、ニーズに応える内容になっている。



児童の84%、保護者の92%、教職員の100%がA及びBの評価である。今後とも、保護者の方の必要な情報について各種通信の発行、ホームページ、メール情報等を充実させていきたい。不審者情報なども早く正確に発信することで、事件等に巻き込まれないように指導していきたい。